

A_R_T

写真も取材協力もラグーコーポレーション
TEL:045-853-2222 http://www.lager.co.jp/
東京協力株式会社 エス・エス・ジェイ

Mercedes-Benz G-Class by LAGER CORPORATION

EGO CAR X 我が道

元々がワイルドで精悍な表情を持つGクラス、いわゆるゲレンデヴァーゲン。近年メルセデス・チューナーとして特に注目を集めるA_R_Tは、このGクラスという最高の素材に、絶妙なアレンジを加えた。

日本文字・撰文 text by HIRO Maruo
英語文字・写真 photos by KONOJO Hiroyuki



2000年代初頭に誕生した新時代のメルセデス・ベンツ・チューナー「A_R_T」(以下ART)が、大きな注目を集めている。自身も大のメルセデス・ファンというイムレ・アルバCEOを相手に、ユーザー視点での製品開発をテーマとしているART。最も得意とするのは、Gクラスを基調とするプレミアムSUVシリーズに向けたカスタマイズプランの提案だ。メルセデス・ベンツのSUVシリーズ展開の拡大もあり、ARTは年々そのカスタマーを増やしてきた。Gクラスに例えれば1979年の市場デビュー以来、内外装ディテールやメカニズム面において絶え間なきアップデートが繰り返されてはいるものの、基本スタイルはデビュー以来ほぼ変わっていない。

ARTブランドの国内総販売元を務めるラグーコーポレーションの下田氏によれば「エアロパーツはもちろん、スタッドレス製ガードや各種ライトなど、豊富なオリジナルパーツの中からチョイスし、自分なりのGクラスを創る楽しさがARTらしさだと思っています」とのこと。ユーザーのアレンジテーマ実現をサポートする、ハイセンスなメルセデス・チューナーであるARTに、今後ぜひ注目して欲しい。

同じドイツ製の工業製品であるライカMが、デジタル時代に突入し、なお初代M3以来の姿を踏襲しているように、Gクラスもまた、時代の流れに対する耐久力を持つ完成されたデザインを備えている。しかしこの完成されたデザインも、ARTの手にかかれば、最高の素材となる。Gクラス・ユーザーにインスピレーションをもたらす、実に豊富なカスタマイズパーツが用意されているのだ。今回はそのART流の絶妙なアレンジが施されたG55 AMGの取材が叶った。ノーマルのワイルドさに精悍な表情を加えているのが2011年11月下旬に国内に導入されたばかりという「フロントスポイラー LEDバージョン」だ。これにシルバーに輝く「エンターテインメント」のクロームエディンテークもアクセントを加えている。実はARTによるアレンジはこれに、別注カラーのハーフマント、ブラック塗装となる「IRON ART」ホイールを合わせた3点のみ。だが、それでもこれだけ大胆に表情を変えてみせてくれるのだから面白い。



新発売の「フロントスポイラー LED Version」。従来のランプが設置されていた場所にLEDライトを配置し、85に新デザインを採用。センターにはARTロゴが入る。価格は29万8000円。

リムまで美しく伸びる10本スポークが特徴の「IRON ART」。カラーはシルバー、ブラック、クローム、シルバーの3色の展開。価格は16万円となるが、写真のブラックは特注塗装だ。



メルセデスのSUV系を得意とするARTは、Gクラス、GLクラス、MLクラスの各種パーツプロデュース、他のメルセデスやレクサス同様にラインナップするので、詳しくは国内総販売元のラグーコーポレーションまでお問合せ。

ユーザーにインスピレーションをもたらす、ART流の絶妙なアレンジ

